

トモエシオガマ

Pedicularis resupinata L. subsp. *teucrifolia* (M.Bieb. ex Steven) T.Yamaz. var. *caespitosa* Koidz.

ハマウツボ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

本県を分布の南限とし、確認されている生育地は少なく、全生育地で生育個体数が限られる。

分布

本州（中部地方北部）に分布する。県内では池田町、大野市で自生が確認されている。

種の特徴

高山の草地に生育する多年生草本。葉は幅の狭い卵形で、茎の下部では対生、上部では互生。葉の縁には重鋸歯がある。茎先の苞の脇に紅紫色をした唇形の花をつける。

生育を脅かす要因

草地の改変、温暖化が生育を脅かす要因となる。観賞用の山野草として採取の対象となりやすい。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県植物研究会（1997）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									○							○	

イヌタヌキモ

Utricularia australis R.Br.

タヌキモ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

環境省により国の準絶滅危惧種に指定されている。県内では多くの地域で確認されるが、溜池や水田等の生育環境の悪化によって減少傾向にある。

分布

本州～九州に分布。県内では小浜市、若狭町、美浜町、敦賀市、越前町、あわら市、越前市、南越前町、福井市、勝山市、大野市での記録がある。

種の特徴

溜池、水田等に浮遊する沈水性の多年草。食虫植物。茎は細長く1mに達し、捕虫？を多数つける。水中葉は1.5～4.5cmで盛んに分枝する。花期は8～9月、水上に高さ10～30cmの花軸を出し、径1cmの黄色い花を開く。枝先や茎の先端には殖芽をつける。

生育を脅かす要因

湿地開発、溜池の改修工事、除草剤の使用。

参考文献 福井県植物研究会（1998）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○			○	○	○	○	○				○	○		○	○	○

オクノフウリンウメモドキ

Ilex geniculata Maxim. var. *glabra* Okuyama

モチノキ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

本種はフウリンウメモドキの変種で分布上西限となり、県内での生育地、個体数ともに少なく、要注目から県域準絶滅危惧とした。

分布

北海道（西南部）、本州（東北から北陸）に分布する。県内では池田町、勝山市、大野市で確認されている。

種の特徴

フウリンウメモドキに似るが、葉の裏面が無毛の落葉低木。雌雄異株。葉は互生し、卵形楕円形、長さ3～10cm、幅2～4cm、先は鋭く尖り、鋸歯は低い。葉柄は0.5cm内外。花期は6～7月。花弁は4～5枚、白色。果実は球形、径6mm、赤く熟し下垂する。

生育を脅かす要因

森林伐採、道路工事、産地局限、園芸採取。

参考文献 福井県植物研究会（1999）、福井県樹木誌（2011）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									○						○	○	